

この特集では各会場でお聞きした湖南省版小規模多機能自治基本構想や市のまちづくりに対する主な意見を紹介するとともに、今回新たな取組としてYouTubeで資料の説明をし、インターネット上でアンケートを行った結果を一部抜粋してお伝えします。

なお、たくさんの意見や質問をいただきましたので、すべて紙面でお知らせすることができません。市ホームページに湖南省版小規模多機能自治基本構想の説明や、会議録・報告書を掲載していますのでご覧ください。



市ホームページ

湖南省版小規模多機能自治基本構想の中では(仮称)小規模多機能自治センターを「地域のサポートセンター」として市内中学校区4か所に整備し、高齢者の生活の困りごとの相談を受けている地域包括支援センターや地域まちづくり協議会で選任いただいている支え合い推進員、子ども家庭総合センターなどと連携していくこと、市役所の窓口のDX化にあわせ、(仮称)小規模多機能自治センターにもオンライン化した窓口を積極的に導入していきたいことを説明しました。

皆さんからいただいた主な意見

湖南省版小規模多機能自治基本構想について

- ・行政のあり方が大きく変わることは想像できるが、地域ではどういう仕事が振られるのか、誰が責任を取ることになるのか。肝心な所がこれから検討ということなので非常に不安。
- ・少子高齢化や若者の流出の根本的な原因は何か。その部分の対策は進められているのか。
- ・仕組みが変わることで市民はどう関わってくるのかが見えてこない。4分割するのであれば、職員をきちんと配置しないと行政の仕事はできない。地域の中に職員が入り、地域の暮らしを直接知ってもらうのも公助だと思う。
- ・まちの中心部から離れた場所に住民者としては、小規模多機能自治で中学校区に拠点を置くことは嬉しく思う。よく話を練って、より皆さんのためになるような場所になってほしい。
- ・大事なのは地域の特性を生かした経済活性化だと思う。それを行政と地域でしっかり考えてめざしていかないといけない。
- ・防災活動について各地域が同じレベルで活動できるのかが不安。もっと行政と市民がコミュニケーションをとる機会があるといい。
- ・統廃合することで大きく費用が削減できることが分かったが、4か所にサービスを分散させるとなった場合にかかる費用についても分かりやすくしてほしい。
- ・担い手不足について議論する際、子育て世代や働き手の意見も聞けるように進めてほしい。
- ・DX化は歓迎すべきであるがICT講座をしてほしい。
- ・デジタル化について、便利さも少しずつ理解してきたが、皆さんにどこまで理解してもらえるか。使いやすい、分かりやすいものであれば非常に便利なものになると思うが、有料化されたら利用されないと感じる。
- ・市は子育て支援の充実を進めているが、小規模多機能自治が進み学童も地域に任されていくのであれば現場の声が届けられるようにしてほしい。



▲三雲コミュニティセンターにて

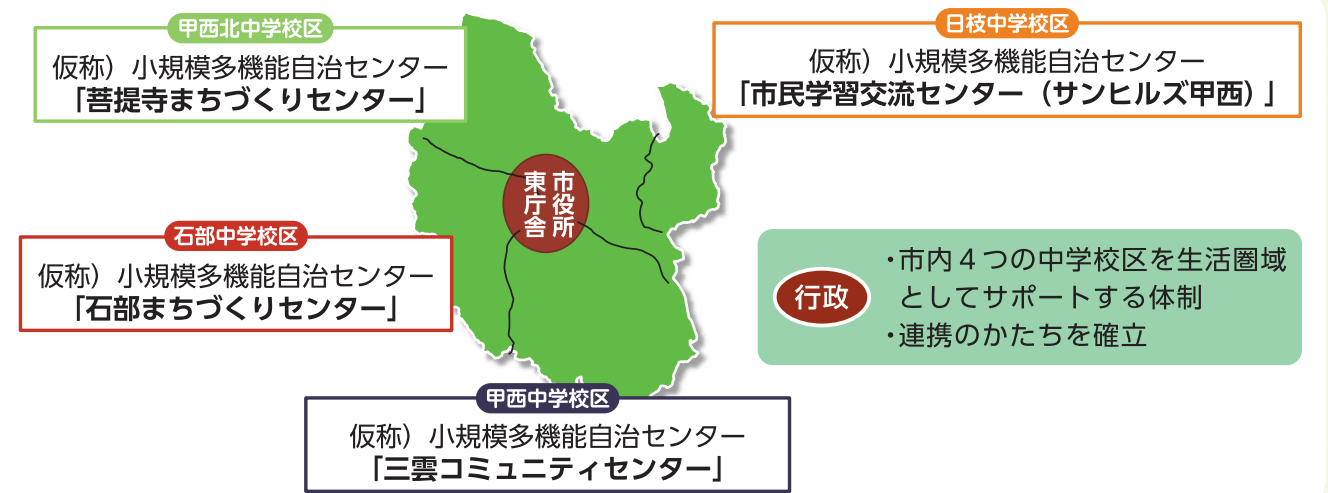
みんなでだれひとり取り残さない社会を築くために… 湖南省が進める小規模多機能自治について タウンミーティングを行いました



市では、平成19年度より市内7つの地域に結成された地域まちづくり協議会を通じて、自助・共助・公助の3つの視点からそれぞれが担う役割を分担し、特色ある地域づくりやまちづくりを進めてきました。しかし、本格的な人口減少社会を迎え地域における課題がますます多様化する中、行政が担う役割も今後は限界となることから、地域まちづくり協議会や区・自治会などの地域運営組織のあり方や、行政・地域・民間事業者がそれぞれ担うべき役割を見直すことが必要となってきました。

そのため、持続可能な地域づくりを行政・地域・民間事業者が連携して進めていく基本的な考え方を「湖南省版小規模多機能自治基本構想」として策定し、令和5年3月議会で議決いただき方向性の決定がされました。この構想は、「自分たちのまちは自分たちでつくる」を基本理念とした地域まちづくり協議会と市の協働により効果的な地域運営をめざすものです。今後本構想を推進するために、(仮称)小規模多機能自治センターの拠点として想定する施設でタウンミーティングを開催し、住民に対し「湖南省版小規模多機能自治基本構想」の説明を行うとともに、広く意見をお聞きしました。

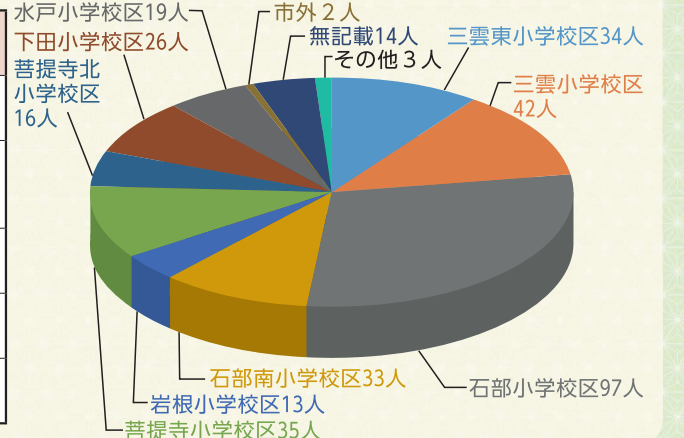
湖南省版小規模多機能自治基本構想での4つの生活圏と地域拠点



タウンミーティング参加者数

日程	場所	参加者数(延べ人数)
7月16日(日)	三雲コミュニティセンター	67人
7月22日(土)	市民学習交流センター(サンヒルズ甲西)	51人
8月2日(水)	菩提寺まちづくりセンター	62人
8月6日(日)	石部文化ホール	118人
8月31日(木)まで	WEBアンケート提出者	36人

小学校区別参加者・WEBアンケート提出者内訳



図書館について

- ・小規模多機能自治センターの機能に図書館の貸し出し返却機能を入れて欲しい。
- ・石部図書館の廃止は理解できるし、蔵書を4つの拠点で使いやすく有効活用できるなら良いアイデアだと思う。
- ・図書館には今やっていることの周知も頑張ってもらいたい。
- ・石部文化ホールを潰すのは賛成だが石部図書館は実際に利用者があるので反対。移動図書館では役割を果たせない。本を読みみたいときにその場に行けることが大切だと思う。



▲菩提寺まちづくりセンターにて

タウンミーティングについて

- ・いろいろな意見が交わされることはとても良いことだと思う。課題があるということで終わるのではなくみんなで議論し、市民が理解できるまで続けて欲しい。
- ・これから先を担う人の意見が伝えられる場やネットアンケートなどがあればと思う。

ウェブアンケートから

- ・地域や区によって少子高齢化やまちの活気の差があるので、小規模多機能自治により広く均等に統括できる機能が広がるのなら賛成。自治会加入者、未加入者で対立関係にあったり、子ども会の消滅も将来的に近づいてきたりと地域の限界を感じている。
- ・まちづくりには必要最低限の機能さえあればいいと思う。地域が必ず担わないといけないことを明確にすることが大切だと感じる。

タウンミーティングやアンケートなどで皆さんからたくさんのご意見を伺いました。少子高齢化や地域での担い手不足などの課題や行政と市民のコミュニケーション不足の指摘、図書館の機能の充実などがありました。

いずれのご意見も自分たちのまちがより良くなってほしいという市民の皆さんの想いであると考えています。

湖南省版小規模多機能自治基本構想を進めるうえで、市民の皆さんにご理解いただくことが大切であると考えています。そのためにこれからもさまざまな世代の皆さんに意見をお聞きする場を設定していきたいと考えています。

☎(湖南省版小規模多機能自治基本構想について) 地域創生推進課(東庁舎) ☎71・2315 ☎72・2000
(タウンミーティングについて) 秘書広報課(東庁舎) ☎71・2300 ☎72・1467

- ・小規模多機能自治センターでは介護申請もできればうれしい。

区・まちづくり協議会について

- ・今のまちづくり協議会は地域のさまざまな問題を解決するシステムになっていないと感じる点が多い。全体での問題や解決方法は議論されないし、目標設定もない。共助の部分は区とまち協でされると思うが、誰かが管理しチェックする機能が必要だと思う。
- ・まち協については行政の評価と一般の市民の評価の間で相当な開きがあると感じている。今回の自治の中核を担っているのは7つのまち協だと思う。
- ・あまりにも非自治会員が多く辞めていく人も多。自治会加入の基準を市がしっかり決めるべきではないか。
- ・事業所の地域活動への理解について働きかけをして欲しい。



▲市民学習交流センターにて

公共施設の集約化に関して、「公共施設等総合管理計画個別施設計画」により図書館と文化ホールを市内1か所に集約すること、令和6年度までに見直しを進める「湖南省市庁舎整備基本計画」の中では西庁舎は東庁舎に集約化することを含めて検討していることを説明し、施設の統合を図ることで施設の維持管理にかかる経費の削減を図りながら、いかに市民サービスを維持していくかを皆さんとともに考えていきたいこと。またこれらを進める中で石部中学校区の小規模多機能自治センターである「石部まちづくりセンター」を地域が使いやすい拠点となる施設に建て替えるため、石部文化総合センターの解体を進めることを説明しました。

石部文化総合センターについて

- ・東庁舎は耐震Is値が非常に低い問題を抱えているが、石部文化総合センターは新耐震基準をクリアしている建物でありながら除却をしないといけないのはなぜ。
- ・建て替えが本当に必要なのかどうかは住民と対話の中で進めてもらいたい。このスケジュールは不信感でしかない。
- ・文化総合センターを除却し小規模多機能自治センターを新しく建てる際には、石部の特色を生かした施設になるよう石部の人にも十分に話を聞いてもらいたい。
- ・図書館や文化ホールは2つあっても良いと思う。魅力的な活用の仕方を考えたらどうか。
- ・これからの時代に統廃合は必要だと思う。



▲石部文化ホールにて